

トランプ：サディク・カーン（ロンドン市長）はロンドン・テロに責任がある

大統領いわく：ロンドン市長は「恐ろしいことをやっている」

【訳者注】これによって、7/11「子供性犯罪がロンドンで30%上昇・・・」の謎が少しは解けるであろう。もしカーン市長が、故意にペド犯罪への手を打たなかったのだとしたら、それは彼の「慌てる理由はない」という、ロンドン・テロへの態度と辻褄が合い、彼なりの理由があるはずだ。これは、同じ日付のもう一つの記事、「ロンドンのトランプ：“移民は非常にまずい、ヨーロッパ人は気をつけるがよい”」と併せ読めば、もっとよくわかる。

彼は、移民政策を“まずい”ことだと言うが、“非常に、非常に悲しい”ことだとも言っている（2頁上）。「ヨーロッパ人は気をつけるがよい」とは、NWOの奸計に気をつけよ、という意味であろう。もう一つの記事のその箇所を引用しよう：――

「それ（大量移民方針）は、彼女（メルケル）のドイツがそうだ。私は、彼らはよほど用心しなければならないと思う。なぜなら、それは文化を変えること、多くのことをすっかり変えること、安全保障を変えることだからだ。…それは非常に悲しい状況にある。しかしそれは、我々の国家にとってよいことだと、私は思わない。そしてヨーロッパにとって、よいことだとは思わない」と、トランプは言った。

Jay Greenberg, www.neonnettle.com.com

July 13, 2018



ドナルド・トランプは、ロンドン市長サディク・カーンを厳しく批判し、近年のロンドンの「テロ攻撃」は彼の責任だと言った。

大統領は、カーンは英国首都に「何百万という移民を入れる」ことによって、「テロリズム対策に非常にまずいことをしてしまった」と言った。

彼の英国訪問に先立ち、ブリュッセルの米大使館内のインタビューで、米大統領は、このロンドン市長はテロに対して責任があると言った。

大衆紙サンに対して、トランプはこう言った：――

「私は、何百万もの人々をヨーロッパに引き入れるのは、**非常に、非常に悲しいこと**だと思う。

「私はヨーロッパの都市を見回して、もしよければ、特定の名をあげてもよい。

「ロンドンには、恐ろしいことをやってしまった市長がいる。

「彼は恐ろしいことをやってしまった。今起こっているテロ攻撃を見ればよい。

「ロンドンで起こっていることを見るがよい。」



トランプは、カーン市長がロンドンのテロ攻撃に責任があると言う

エクスプレスはこう報じている：「ロンドンは昨年、4度のテロ攻撃の犠牲者になった。それらはウェストミンスター、ロンドン橋、パーソンズ・グリーン地下鉄駅、それにフィンズベリー公園のモスクで起こった。<https://www.express.co.uk/news/uk/988129/donald-trump->

「彼は犯罪に対して、非常にまずいことをやってしまったと思う——そこで起こっているすべての恐ろしいこと、持ち込まれたすべての犯罪を見ればよい。」

トランプはまた、サディク・カーンが、市長の管轄するロンドンのシティホールに、6メートルの、おしめと男のおっぱいをつけた米大統領の風船人形を、彼のロンドン訪問中に、飛ばすことを許可したのは、米国に対する敬意を欠くものだと言った。

「私はそれは、非常に重要な政府を迎える者のやることではないと思う。」

「彼は、現在の大統領を好きではないかもしれない。しかし私はアメリカ合衆国を代表しているのだ。」

「私はまた、ヨーロッパの多くの人々を代表している。なぜなら、多くのヨーロッパ人がアメリカにいるからだ。」



暴力的な反トランプ抗議者たちが、ロンドンの街路にあふれた

トランプは昨年、あるテロリストが、ロンドン橋とバラ・マーケットで、人々を襲った事件の後で、カーン氏と衝突した。

この共和党のたいまつは、市長がロンドン子たちに、冷静を呼びかけたことを激しく嘲った。

彼はツイートでこう言った：「テロ攻撃で、少なくとも7人が死に、48人が負傷したのだ。それでもロンドン市長は、“慌てる理由は何もない”と言っている！」

カーン氏は、このツイートを「事情をよく知らない」と評した。

カーン氏に近いソースは、内務省は、英国全体の移民政策を担当しているので、シティホールの人たちは関係がない、と言った。

——以上